

2007

第5回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン

主催：ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会

制作統括/監修：三澤寿喜

助成：財団法人朝日新聞文化財団、財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団、野村国際文化財団

協力：朝日新聞社、JAL 日本航空、久保田チェンバロ工房、東京古典楽器センター、池上ルーテル教会

後援：ハレ・ヘンデル協会(ドイツ)、ハレ・ヘンデル・フェスティバル(ドイツ)、アメリカ・ヘンデル協会

マネージメント：アレグロミュージック 03-5216-7131 © 問い合わせ：HFJ事務局 0297-82-7392

主題 「英国王室とヘンデル」

2007

12/8

@ 目白聖公会(礼拝堂)

14:00 開演 (13:30 開場)

【ロイヤル・ファミリーのための音楽】(解説付き)

演奏/広瀬 奈緒 (ソプラノ) 三宮 正満 (オーボエ/リコーダー) 解説/三澤 寿喜
杉田 せつ子 (ヴァイオリン) 平野 智美 (チェンバロ)

● TICKETS: 4000円 学生 2000円

全席自由 (100名様まで) 支援会会員/2800円



Naoko Hirose

Masamichi Sanmichiyan

Setsuko Sugiura

Shizuko Hirano

Toshiko Misawa

2008

1/18

@ 浜離宮朝日ホール

19:00 開演 (18:30 開場)

《水上の音楽》全曲 《戴冠式アンセム》全曲

演奏/キャノンズ・コンサート室内管弦楽団&合唱団

指揮/エンリコ・オノフリ

● TICKETS: S7500円 A6500円 (学生 4000円)

全席指定 支援会会員/S5250円 A4550円

古楽界の鬼才エンリコ・オノフリによる英国王室のための2大傑作

■お得な2公演通し券 S10500円 A9500円

...アレグロミュージックにて取り扱い。前売りのみ。

■学生券 アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。

【チケット取り扱い】

アレグロミュージック 03-5216-7131

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

朝日ホール・チケットセンター(1/18のみ) 03-3267-9990

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2007

モットー

激情人、劇場人、ヘンデル

ヘンデル没後250年となる2009年を見据えながら、2003年より開始したHFJは、声楽曲から器楽曲まで広汎なヘンデル作品を包括的、継続的に演奏し、とかく《メサイア》に偏りがちな「ヘンデル像」を正し、直接的で劇的な表現力に富むヘンデル作品の真の魅力を浮き彫りにします。これまで4回のフェスティバルを開催し、いずれも大好評を得ました。

- 03年(第1回)「キャノンズのヘンデル」(メイン企画:《エイシスとガラテア》)
- 04年(第2回)「ローマのヘンデル」(メイン企画:《復活》)
- 05年(第3回)「ロヴェントガーデンのヘンデル」(メイン企画:合奏協奏曲集作品6、《ヘラクレスの選択》)
- 06年(第4回)「ドラマティスト、ヘンデル」(メイン企画:《ヘラクレス》)



ジョージ1世、ジョージ2世、キャロライン王妃

第5回目となるHFJ2007は「英国王室とヘンデル」という主題を設定しました。ヘンデルは生涯にわたり英国王室と密接な関係を保ちながら、数々の名曲を生み出しました。王室用の音楽は劇場活動(オペラやオラトリオなど)とは比較にならない大規模な管弦楽や合唱の使用が認められたため、ヘンデルにとっては壮大・華麗な表現を試みる好機でした。そこに展開される豪放で、壮麗な音楽もまたヘンデルの魅力です。その代表作が器楽では《水上の音楽》、声楽では《戴冠式アンセム》です。一方、王室の王女達のために作られた作品(リコーダー・ソナタやハープシコード組曲)は、王女達に対するヘンデルの優しい心遣いと愛情に満ちた典雅な作品です。今回は全2企画を通じて、多様な魅力をもつ王室関連の作品の全体像を浮き彫りにします。

企画1:「ロイヤル・ファミリーのための音楽」(解説付き)…… 予定演奏曲目 ※ 曲目は予告なく変更される場合があります。

- *リコーダー・ソナタ、ハ長調(HWV365) *ハープシコード組曲、二短調(HWV447)
- *劇的カンタータ《アポロとダフネ》より ダフネのアリア“Come in ciel”
- *オペラ《アタランタ》より メレアグロのアリア“Care selve” メレアグロのアリア“Tu solcasti il mare infido”
- *オラトリオ《ユダス・マカベウス》より イスラエルの女のアリア“So shall the lute and harp awake”、他。

企画2:《水上の音楽》(HWV348-350)全曲 《戴冠式アンセム》(HWV258-261)全曲

《水上の音楽》はジョージ1世のテムズ川での舟遊びのために作曲された作品で、戸外演奏にふさわしい豪放で開放的な作品です。しかし、本作品は有名でありながら、わが国では全曲演奏はほとんど行われていません。これまで本作品の楽章配列(演奏順)は不明でしたが、2004年10月、ロンドンの王立音楽家協会図書館で現存最古と思われる筆写譜が新たに発見されました。今回はホグウッド氏やハレ・ヘンデル協会の協力を得て、その最新資料に基づく演奏を行う予定です。

《戴冠式アンセム》は1727年10月11日にウェストミンスター・アビーで行われたジョージ2世の戴冠式のための作品で、全4曲のアンセムから成ります。3本のトランペットを含む大規模管弦楽と最大7声にまで及ぶ合唱を用いるこの作品の荘厳華麗さはヘンデル作品の中でも群を抜いています。中でも圧倒的な迫力をもつ「祭司ザドク」は現在でもイギリス国民に人気の作品です。

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol.5 (HFJ 2007)
THEME: “HANOVERIAN COURT AND HANDEL”

PROJECT I
“Music for the Royal Family” (With Commentary)
14:00, Saturday 8th December, 2007
Mejuro Seikokai(Anglican-Episcopal Church), Tokyo
Commentator:Toshiki Misawa
Tickets: ¥4000(Free seating) Students = ¥2000

PROJECT II
WATER MUSIC(HWV348-350)
CORONATION ANTHEMS(HWV258-261)
19:00, Friday 18th January, 2008
Hamarikyuu Asahi Hall, Tokyo
Conductor:Enrico Onofri
Orchestra & Choir:CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA & CHOIR
Tickets: S=¥7500, A=¥6500, Students=¥4000
MOTTO: HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

指揮: エンリコ・オノフリ Enrico Onofri

イタリア人ヴァイオリン奏者、指揮者。バロック・ヴァイオリンの名手として世界各地で活発なソロ活動、合奏活動を行っている。1987年以来「イル・ジャルディーノ・アルモニコ」のコンマスとしてイタリアのみならず世界の古楽界をリードしている。最近では指揮活動も活発に行っており、05年からはマッシモ・マツェオ主宰の古楽室内合奏団「ディヴィオ・ソスピーロ」の指揮者を務め、06年「ラ・フォル・ジュルネ」の日本公演で来日。現在、古楽界で最も注目される指揮者となっている。

キャノンズ・コンサート室内管弦楽団 (HFJ専属合奏団) CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA (CCCO)
杉田せつ子(Vn,Cm) 甲斐史子(Vn) 江島有希子(Vn) 森田芳子(Vn) 廣海史帆(Vn) 中村梨里(Vn) 伴野剛(Va)
猪谷さくら(Va) 西山健一(Vc) 長谷川弘樹(Vc) 西山真二(Cb) 江崎浩司(OB) 森綾香(OB) 功刀貴子(Fg)
永谷陽子(Fg) 神代修(Tp) 三澤徹(Tp) 下田太郎(Hn) 飯島さゆり(Hn) 村本寛太郎(Timp) 勝山雅世(Org,Cemb)
他。

キャノンズ・コンサート室内合唱団 (HFJ専属合唱団) CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR (CCCO)
千石史子 本宮麻子 広瀬奈緒 山崎千恵 若林三子代 渡邊公実子 奥野恵子 小野綾子 田中栄吉 宮崎恵美子
横町あゆみ 齋原範道 坂口寿一 前田啓光 真木喜規 小家一彦 酒井崇、他。

HFJを支援する会 (HANDELIAN)

年会費は1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主権公演の優先予約と割引(概ね3割引き)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。法人会員については別途お問い合わせください。



目白聖公会
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-19-4
Tel 03-3951-5010

●JR山手線目白駅から徒歩5分
お車でのご来場は御遠慮ください。



朝日新聞東京本社
浜離宮朝日ホール
〒104-8011
東京都中央区築地5-3-2
Tel 03-5541-8710
●都営地下鉄大江戸線・築地市場駅A2出口、0分。
●池上線日比谷線・東横線築地6番出口築地駅1.2番出口から徒歩7~8分。
●都営浅草線・東横線6番出口から徒歩7~8分、新橋駅から約15分。
●JR新橋駅銀座口から徒歩約15分。
●新橋駅銀座口から都営バス(市)乗車11分(築地市場行き)または「朝日新聞朝刊」(築地市場)または「朝日新聞朝刊」下車。
※駐車場は近くの首都高速歩留地下駐車場を御利用ください。
(問い合わせ先: 03-3542-0341)